

県議会議員

あらい、絹世の磯っ子レポート

夢と希望のある神奈川を




<https://araikinuyo.jp/>

コロナに対応した中小企業の支援に力点 県の「エネ・産業・労働」新年度当初予算

一般、特別、企業の3会計を合わせた総額4兆6185億円余に上る神奈川県の2022年度当初予算案が原案通り3月25日開会の県議会本議会で可決されました。このうち私が所属する産業労働常任委員会で審議、採択したエネルギー・環境、産業・労働分野（県では産業労働局が所管）の当初予算は一般、特別会計合わせ461億9110万円余で前年度当初予算の4.3%増となっています。県内には20万近い中小企業が存在し、コロナウイルス感染症まん延による影響も少なくありません。県の産業・労働分野の対策では経営の安定化、事業の継承・強化を支援する事業に重点が置かれ、感染症対策事業費として256億6466万円が組まれました。新たな事業アップへの補助、資金繰り支援、県内の消費需要喚起、成長支援、雇用対策などです。また将来の電気自動車時代を見据え、電気自動車等の導入促進、電力の需給バランスを保つ電力調整力を確保するためのVPP（バーチャル・パワー・プラント）形成促進事業費への補助を新たに始めることにしています。

好評の中小企業のビジネスモデルの転換事業に対する補助（補助率4分の3、補助上限3000万円）を継続するほか、今年度から神奈川産業振興センターによるフォローアップ事業を実施し、この支援を行います。2020年度にビジネスモデルの転換補助を受けたがうまくいってない事業所に中小企業診断士などを派遣して指導に当たるもの。資金繰りの支援では今年度の融資枠として2600億円を見込んでいます（2021年度の融資対象は9500件）。融資のための保証料への支援では保証率を0.68%から0.34%へ、融資期間を7年から10年になるよう改善します。昨年11月から「原油上昇に関する特別相談窓口」を県内の商工会議所や商工会等開設しましたが、2月25日からこれにウクライナ情勢も加えています。また消費重要喚起事業として新規に商店街等再活性化支援事業費への補助費として4837万円を計上していますが、これは再活性化や魅力ある商品等を再発見し発信する事業に補助するものです。県内には約900カ所の商店街があります。

電気自動車、ハイブリッド自動車等への補助では同自動車や建物と自動車を仲介する設備を導入する人に行う（いずれも補助率3分の1、上限車20万円、充電設備100万円）場合などがあります。VPPの形成は太陽光や風力の発電の導入をさらに進めるうえで期待されているものでVPPの運営事業者がオフィス、工場、住宅との電力の取引を調整することで需給を効率的、安定化するもの。エネルギーマネジメント機器を導入するにあたり設計・設備・工事費の3分の1を補助（上限100万円）するものです。



これが言いたい!

ロシア・ウクライナ情勢により、原油・原材料高騰等の影響を受けた中小企業者の方の資金繰りを支援する「原油・原材料高騰等対策特別融資」が新設され、3月8日より申し込みが開始され、4月21日時点で9件の申し込みがありました。また、県庁金融課及び公益財団法人神奈川産業振興センターに、「ウクライナ情勢・原油価格上昇等に関する特別相談窓口」が設置され、資金繰り等の相談を受け付け、16件（4月21日時点）の相談がありました。この他にも日野自動車の一部生産停止により影響を受ける中小企業・小規模事業者に対する支援として、「日野自動車サプライチェーン関連中小企業支援対策特別相談窓口」を設置し、資金繰り等の相談を受け付けていますが、社会情勢の変化により影響を受ける中小企業・小規模事業者に対し、引き続き時期を逃すことなく相談体制や支援体制を整備していく必要があります。

今月の
ひと言

ねんりんピック(全国健康福祉祭。主に60歳以上の高齢者を中心にスポーツや文化種目の交流大会)が半年後の11月12日から15日に神奈川県で開催されます。横浜市では開会式やテニス・サッカー、スポーツ文化チャレンジ大会ではシャッフルボード・民謡・パッチワークが開催されます。

磯子あれ?これ?

日蓮宗 法性山 随縁寺 (磯子区上中里町)

随縁寺がいつごろ創建されたのかわかりませんが、もとは真言宗の寺院で、港南区笹下にある東樹院の末寺とされています。

新編武蔵風土記稿によると、上中里神社近くにあった他の真言宗の寺と共に廃寺になり、江戸時代初期の正保年間(1644~47)、日蓮宗の僧・本明院日意上人が再興して、杉田妙法寺の末寺としました。

明和元(1764)年12月に火災で本堂などが全焼してしまい、沿革なども全て焼失しました。明和3(1766)年に庫裡、天明元(1781)年に本堂を再建しました。明治39(1906)年には、本堂の修繕、庫裡の再建と庭や山林に広く植樹をし、境内の整備をしたと記録されています。また、昭和50(1975)年に、庫裡と客殿を新築、平成15(2003)年に大規模な本堂の増改築と山門・客殿を新築し、境内も整備しました。

境内には、ツツジ・梅・紫陽花など四季折々の花が咲き、竹林は爽やかな風を運んでくれます。銀杏の大きな木の下には笠付庚申塔(元禄5年建立)があり、かつて上中里村に庚申信仰が広まり、昭和以前まで庚申講がおこなわれていたことがわかります。
参考:磯子の史話、住職のはなし

活動報告



◇「困難を抱える女性支援法」制定に向けて、法案に携わっているお茶の水大学名誉教授戒能氏による勉強会を女性議員局で4月18日(月)に開催しました。

◇2022年5月1日(日)から15日(日)にブラジルで開催される第24回夏季デフリンピック競技大会に出場する県内ゆかりの日本選手団が4月19日(火)県庁を訪問されました。デフリンピックは国際的な「ろう者のためのオリンピック」です。日本でのパラリンピックの認知度は98.2%に対してデフリンピック11.2%と認知度は低く、またこれまで日本ではまだデフリンピックは開かれておらず、100年近い歴史を持つ大会が日本で開かれる事が切望されています。



あらい絹世プロフィール

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井(株)/株メタルワン
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 平成31年4月 県議会議員3期目当選
- 産業労働常任委員会委員
- 安全安心特別委員会委員
- 自民党県議団政務調査会筆頭副会長
- かながわ自民党女性議員局長

